

クラボウグループが取り組む主な永続的な環境・社会貢献活動



再生可能エネルギーの利用

徳島工場や三重工場などの自社工場に太陽光発電を導入するだけでなく、旧・津工場や北条工場の跡地をメガソーラー用地として賃貸しています。

ゼロエミッションの取り組み (徳島工場)

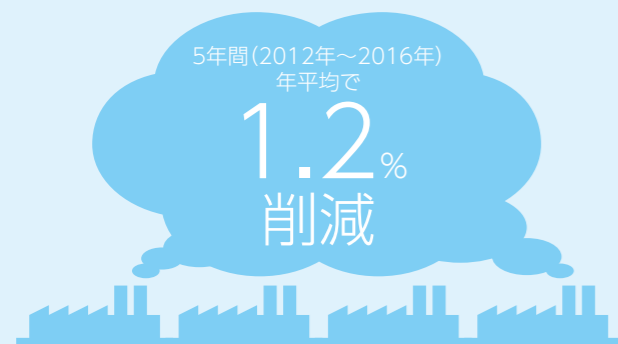
染色加工の排水処理工程から発生する汚泥は、脱水・乾燥後に焼却し、熱回収しています。焼却灰はセメント原料に再利用します。

※クラボウグループではゼロエミッションの基準を「再資源化率98%以上」と定義しています。

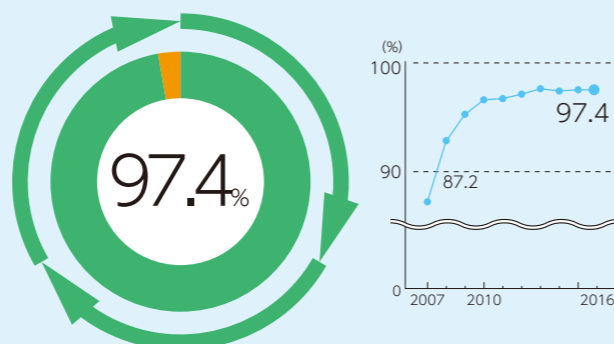
自社の保有技術を活用した徳島バイオマス発電所

徳島に建設したバイオマス発電所は、保有技術である「流動層ボイラー」と蒸気タービンを組み合わせたもので、間伐材等を燃料とします。年間発電量は一般家庭約11,000世帯分に相当します。

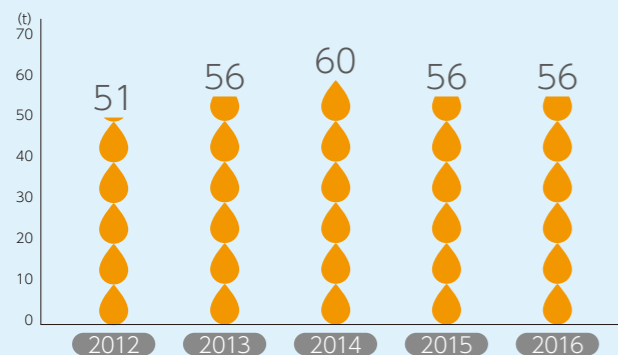
CO₂排出量



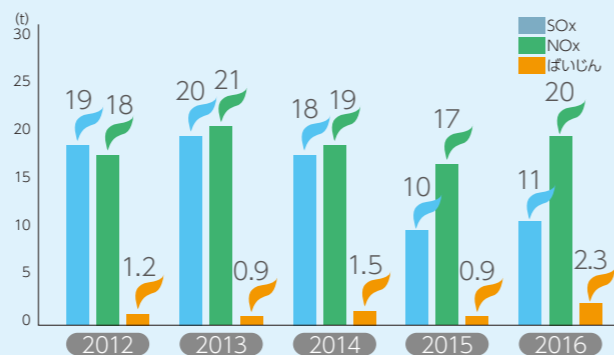
廃棄物再資源化率



COD排出量の推移 (染色加工場)



大気汚染物質



大気汚染防止・水質汚濁防止のため、環境負荷の排出低減を推進しています。大気汚染物質 (SOx, NOx, ばいじん等) や水質汚濁物質 (COD) の排出量は規制値以下で安定的に推移しています。

クラボウの環境活動における詳細データと最新情報はWEBサイトにて環境レポートとして公開しています。
<http://www.kurabo.co.jp/report/>



人と地球の健やかな環境を考える。クラボウのヒューマンフレンドリー発想。

クラボウは、天然素材を扱うメーカーという企業の視点と、製品を使用する立場に立った消費者の視点で、人と地球の健やかな環境を考えた商品づくりをおこなっています。



繊維事業部 大阪本社 〒541-8581 大阪市中央区久太郎町2-4-31 TEL 06-6266-5303
 東京支社 〒103-0023 東京都中央区日本橋本町2-7-1 NOF日本橋本町ビル2階 TEL 03-3639-7065 A1134©



KURABO DENIM
PRIME BLUE

INITIATIVES FOR
SUSTAINABLE
FABRIC PRODUCTION

生地生産における永続的な社会貢献活動

メーカーの社会的責任として 環境負荷の削減に取り組む

クラボウは、1888年の創業以来、社会的責任(CSR)に対して初代および第2代社長の意志を引き継ぎ、特に環境保全を重要視した事業活動に取り組んできました。その姿勢はクラボウデニムの生産においても一貫しており、自社のみならず、紡績から染色、製織、加工に至る各工程の専門企業が強力で連携した生産ネットワークを構築。地球温暖化ガス(CO₂)の削減やゼロエミッションの推進、デニム生地廃材を再活用するサステイナブルな取り組みなど、地球環境に配慮した様々な事業活動を行っています。今後も、メーカーとしての社会的責任を果たすべく、蓄積した知識と経験を結集するとともに、積極的な技術革新をもって環境負荷の削減に取り組んでまいります。

取締役社長 藤田 晴哉



KURABO DENIM PRIME BLUEとは

クラボウは国産デニムの先駆けとしてデニム生地を作ったメーカーであり、その歴史は半世紀近くにおよびます。デニム生産のパイオニアとして、常に技術を磨くとともに、世界中のお客様のニーズをいち早く取り込み、新しい価値観を持つデニム素材を提案し続ける。それが、KURABO DENIM PRIME BLUEです。



● 1888

クラボウが紡績会社として創業

● 1970

ジーンズ用デニム事業開始

● 1973

日本初のデニム「KD-8」の販売を開始

● 1996

最先端の染色設備を持つ徳島工場が竣工

● 2015

「KURABO DENIM PRIME BLUE」を発表

詳しくはこちら >> <http://kurabo-denim.com/jp>



環境に配慮したデニム生産プロセス



紡績

KURABO

クラボウでは、環境配慮の視点から、これまで捨てられていたデニム製品の生産工程での廃材を有効活用する独自の紡績技術を確認。各工程において環境負荷の低減に取り組んでいます。



環境配慮製品

RETURN COTTON

Return Cotton (リターンコットン)

クラボウ「リターンコットン」は、綿紡績の工程で発生する様々な「未利用繊維(落綿など)」を積極的に再利用し、独自の技術により再生させた循環型社会をめざすエコロジー素材です。

Looplus

Looplus (ループラス)

「Looplus」は、「もったいない」から生まれた「もったいいい」をコンセプトに、従来は廃棄されていた縫製工程で発生する「裁断くず」を資源として再活用する、クラボウのサステイナブルな取り組みです。

organic cotton

オーガニックコットン

3年以上の無農薬の実践を経て、認証機関に認められた農地で栽培されたコットンです。健康への影響や環境的負荷を最小限に抑えることを目的としています。



染色

坂本デニム株式会社



坂本デニムでは、ロープ染色時に発生する排水処理や熱エネルギーの削減や負荷低減を目指した独自の染色システムを確立し、環境配慮型の染色工程を実現しました。

エコ染色

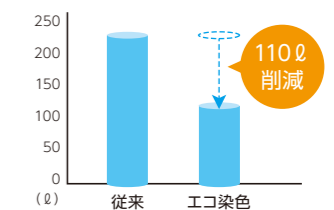


エコ染色は、従来使用していた洗浄薬品や温水の使用量を大幅に削減できる独自の染色システムで染色工程における環境負荷低減が図れます。

エコ染色の効果

- ・ 洗浄薬品、精練漂白剤を減少
- ・ 水使用量の削減
- ・ 燃料の削減
- ・ CO₂排出量の削減
- ・ 汚泥排出量の削減

エコ染色(約40反分)によるA重油の削減量



製織

篠原テキスタイル株式会社

生地廃材の再利用

篠原テキスタイルでは、デニム生地の廃材の再利用として、地元企業のワークショップ用の材料として提供しています。



加工

コトセン株式会社

熱交換効率の向上化

コトセンでは、高効率熱交換器の導入により、高温の排水の熱を利用して加工工程に必要な水の温度を上げることでボイラーの燃焼量を減らし、CO₂、NOxやSOxの排出量を低減しています。